

# カナデビア IR Day

代表取締役 社長兼COO 桑原 道

# 主な経歴

桑原 道

Michi Kuwahara

- 1986年 4月 当社入社
- 1997年 6月 Hitachi Zosen U.S.A.（現 Kanadevia U.S.A.） 出向
- 2002年10月 ユニバーサル造船（現ジャパンマリンユナイテッド） 出向
- 2011年 5月 Hitachi Zosen Inova（現 Kanadevia Inova） 出向
- 2015年 4月 当社経営企画部長
- 2018年 1月 Hitachi Zosen Inova（現 Kanadevia Inova） 会長
- 2020年 7月 当社業務管理本部長 兼 企画管理本部長
- 2021年 6月 当社取締役
- 2022年 4月 当社常務取締役 環境事業本部長
- 2024年 4月 当社代表取締役 社長 兼 COO（現在）

# 会社紹介

2024年10月  
日立造船株式会社から、**カナデビア株式会社**へ

日立グループを離れ、祖業の造船を離れ、  
現在は主力事業である **環境事業** 中心の会社

ごみ焼却発電施設 **世界トップクラスのシェア**

2024年10月1日に日立造船株式会社から商号変更

# Kanadevia

地球の、  
デッカい  
希望になれ。  
カナデビア



# 事業構成と主な製品群

## 脱炭素化



船用エンジン



風力発電



Power to Gas  
(水素、メタネーション)

## 環境



ごみ焼却発電事業



バイオガス事業



水処理事業

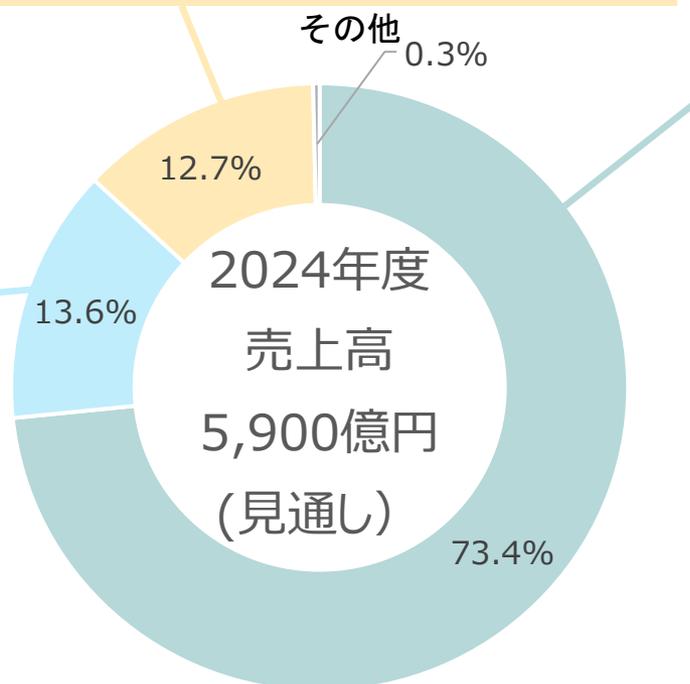
## 機械・インフラ



精密機械



橋梁・水門



# 中期経営計画「Forward 25」

## Forward 25 財務目標

	2024年度見通し	2025年度目標
受注高	6,800 億円	6,000 億円
売上高	5,900 億円	5,600 億円
営業利益 (営業利益率)	260 億円 (4.4%)	280 億円 (5.0%)
ROE	10.6%	9.5%

### 重点施策

#### 基本方針(1)

既存事業の持続的成長

- ① 海外事業の伸長
- ② 事業構造改革の推進
- ③ 継続的事業の拡大および新設事業の収益改善

#### 基本方針(2)

成長事業の創出・拡大

- ① 投資(事業投資・開発投資)戦略の実行
- ② 重点分野への投資

#### 基本方針(3)

持続可能な経営の推進  
(企業価値の向上)

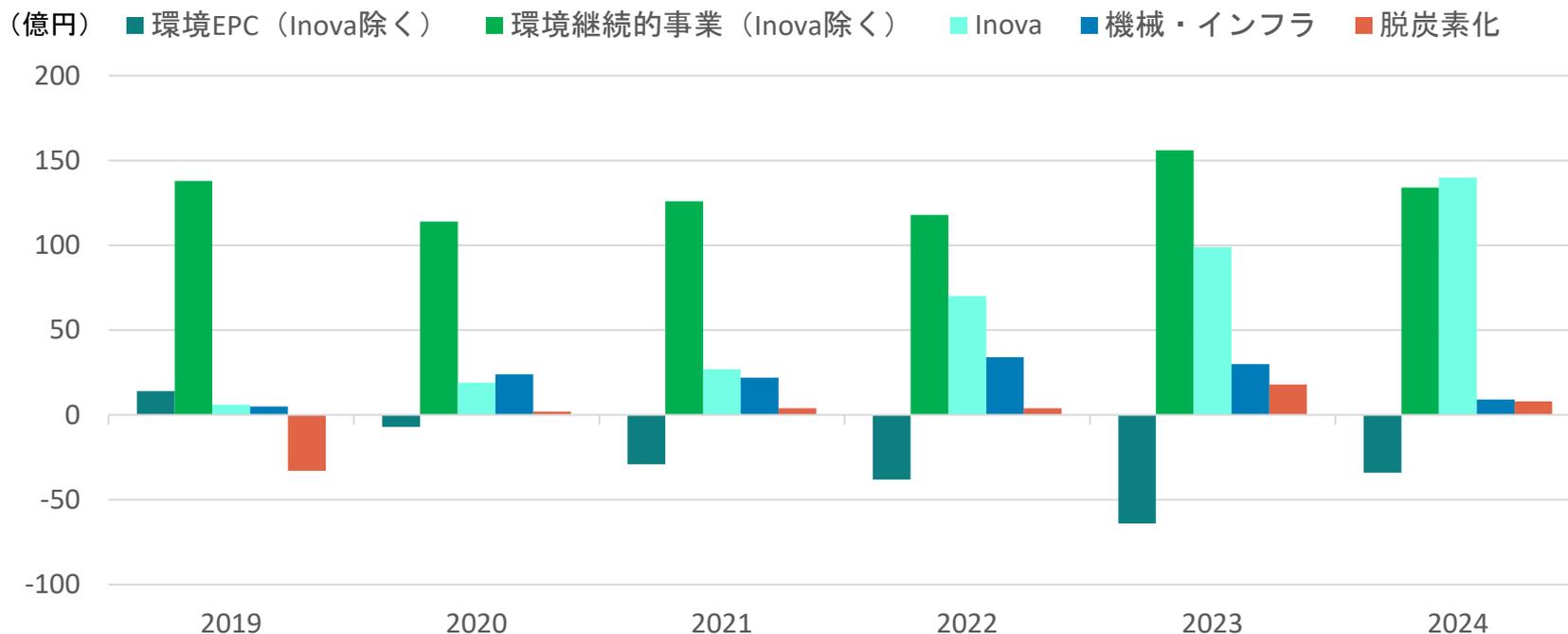
- ① 人的資本の強化
- ② 事業活動の脱炭素化
- ③ DX戦略の推進
- ④ リスク管理の徹底

### 重点分野

- 脱炭素化(CN)事業：  
風力発電、原子力・CN関連機器、  
水素・Power to Gas、燃料転換、CCUS
- 資源循環(CE)事業：  
Waste to X\*+CO<sub>2</sub>クレジット、  
Renewable Gas生成・利用・販売、  
産業廃棄物処理事業
- 水事業：  
産業排水処理、廃棄物処理・上下水事業
- ライフサイエンス関連事業：  
創薬研究・再生医療・次世代医療分野  
における各種装置
- 検査・計測・監視および遠隔支援関連事業

\* Waste to X = Energy、Material、Chemical、Fuel、水素、炭素貯留、リン回収等

# 当社グループの営業利益の推移



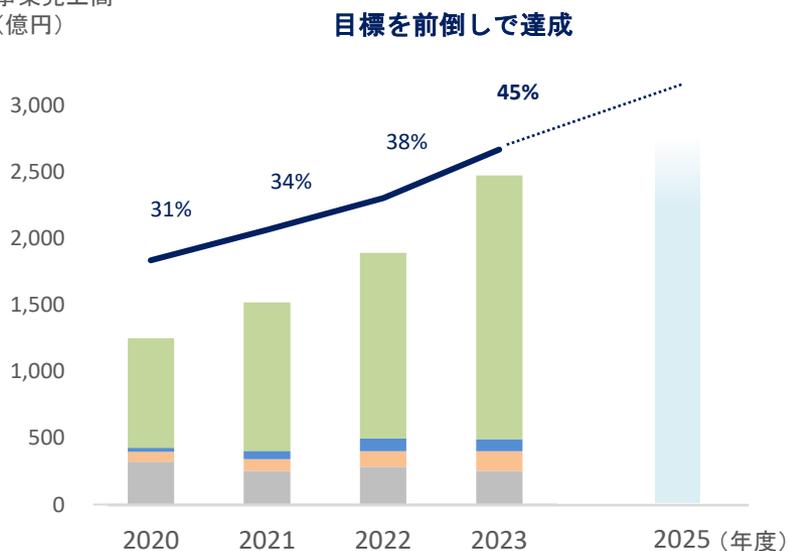
## 営業利益率

(年度)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
環境EPC (Inova除く)	1.8%	-1.1%	-4.5%	-5.8%	-9.5%	-5.1%
環境継続的事業 (Inova除く)	11.5%	9.4%	9.6%	8.2%	11.0%	9.4%
Inovaグループ	1.1%	2.3%	2.4%	5.0%	5.0%	6.3%
機械・インフラ事業	0.5%	2.9%	2.6%	3.9%	3.3%	1.1%
脱炭素化事業	-7.6%	0.4%	1.0%	0.9%	3.3%	1.1%

# 2023年度 海外事業売上高

海外事業売上高  
(億円)



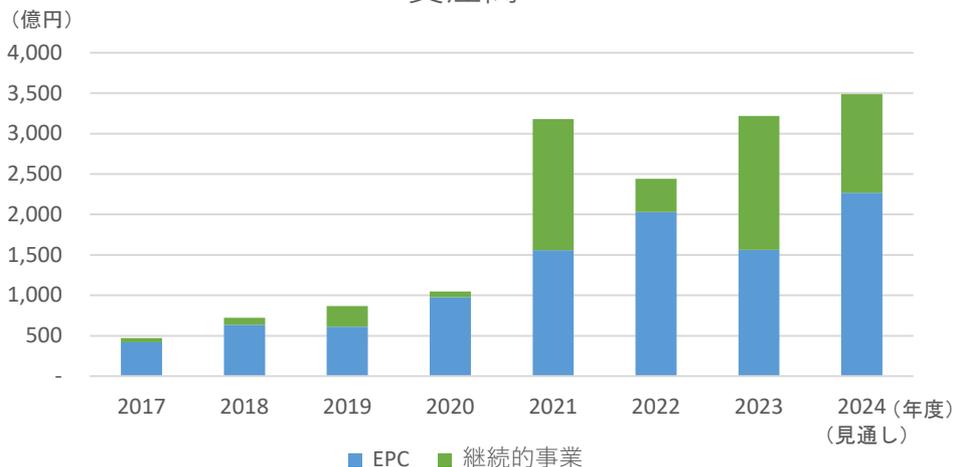
- Inovaグループ
- Osmoflo
- NAC
- カナデビア本体・その他子会社
- 海外事業割合

(億円)

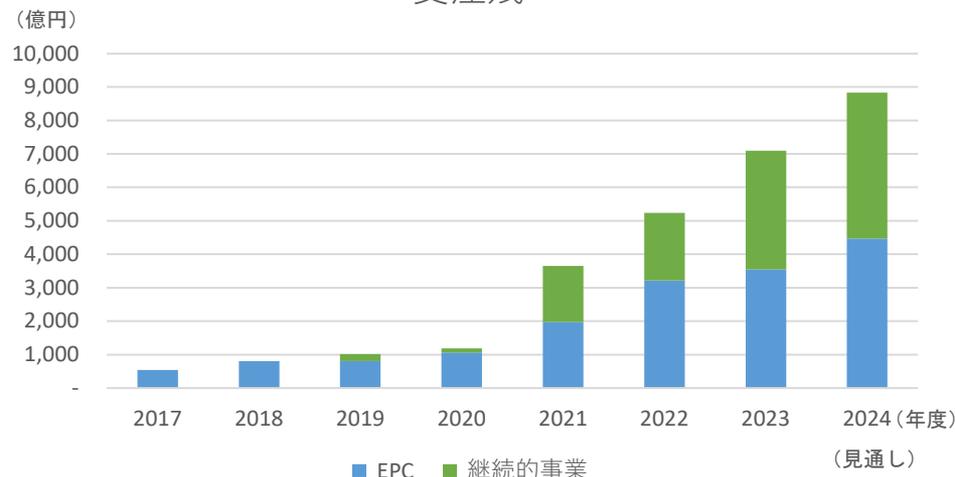
	2023年度	
	売上高	割合
日本	3,083	55.4%
ヨーロッパ	1,762	31.7%
アジア	186	3.4%
北米	264	4.7%
中近東	165	3.0%
その他	98	1.8%

# Inova EPC・継続的事業の業績推移

## 受注高



## 受注残

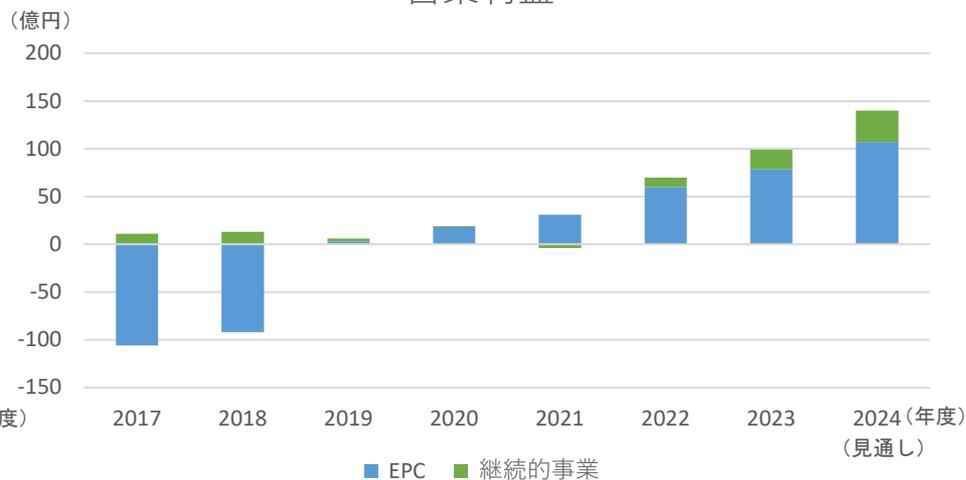


※2017、2018年度はEPC、継続的事業の区別なし

## 売上高



## 営業利益

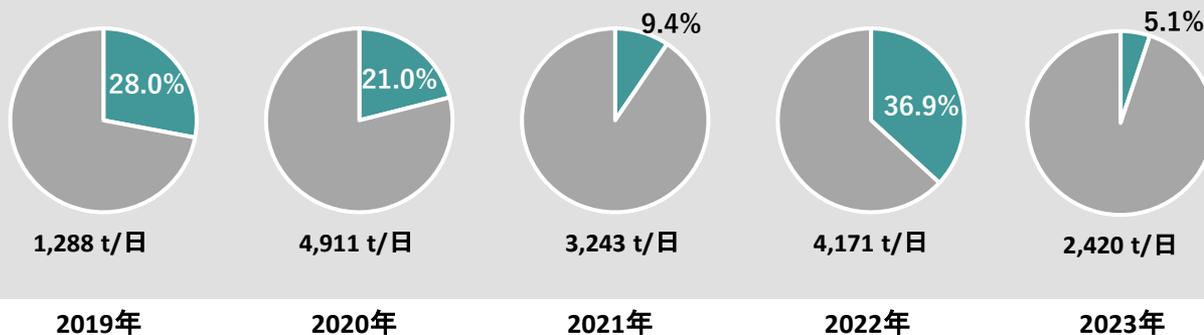


# 環境事業の市場EPC受注シェア

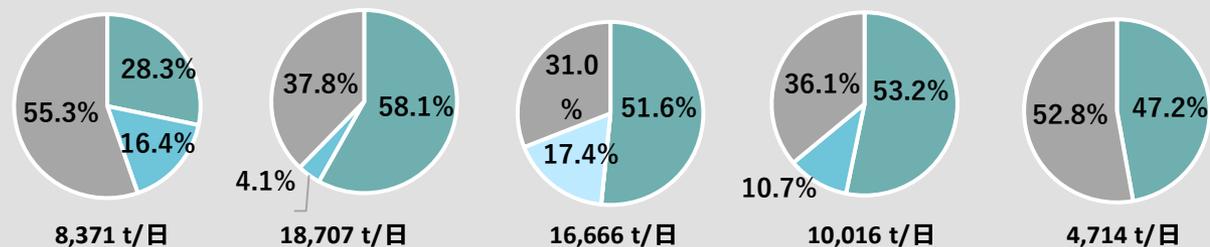
## 受注シェア（処理能力ベース）

### ■ カナデビアグループ

#### ■ 国内市場

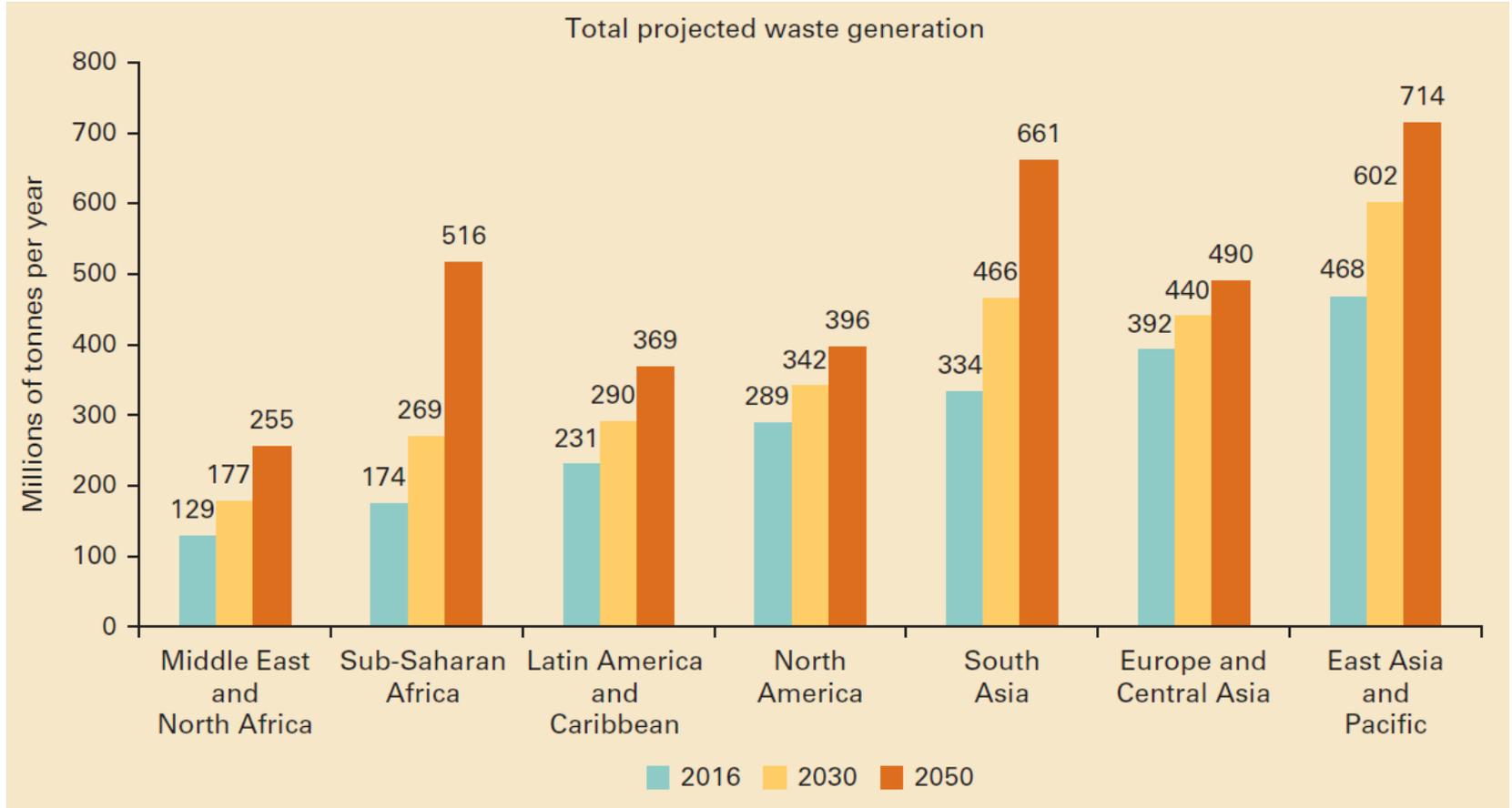


#### ■ 欧州・中東市場



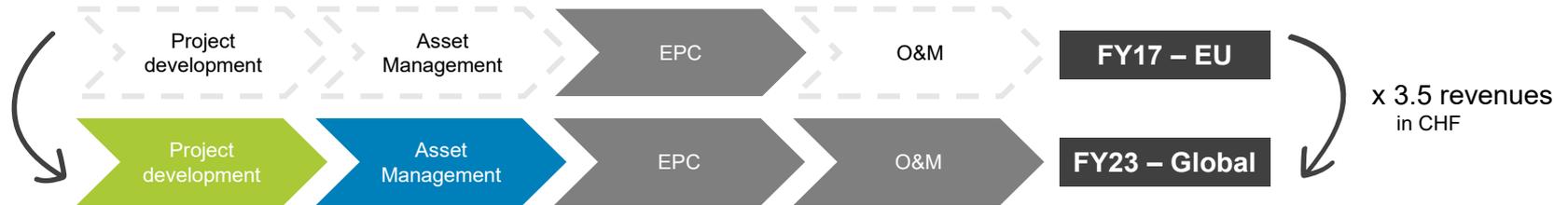
■ Kanadevia Inova ■ Kanadevia Inova Steinmüller ■ B&W

# Inovaの事業拡大 今後の海外市場の成長性



出典：世界銀行 What a Waste 2.0

# Inovaの事業領域の拡大



- 業績のぶれが大きいEPC専業から、バリューチェーンの川上・川下へ事業領域を拡大
- 事業開発、アセットマネジメント、O&Mなど

## リニューアブルガス事業の拡大

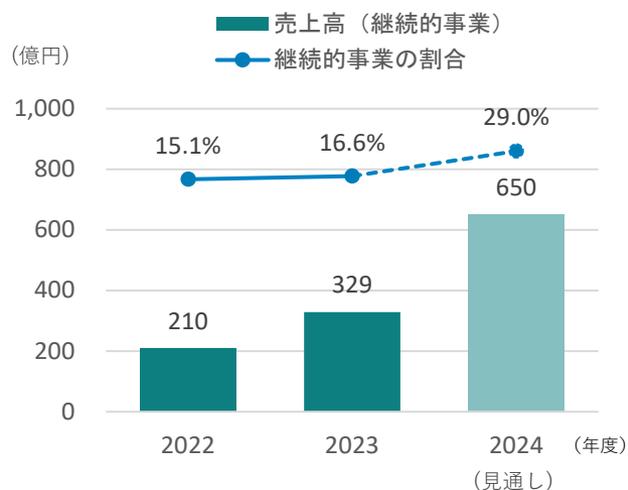
- エネルギー安全保障・脱炭素・サーキュラーエコノミーの観点から、欧米でバイオガスの需要が拡大
- Inovaでは乾式・湿式の両タイプに対応可
- DFBOO\*へとビジネスモデルを拡大

\* DFBOO : Design, Finance, Build, Own, Operate  
(プラントの設計から資金調達、建設、所有、運営までを一貫して実施)

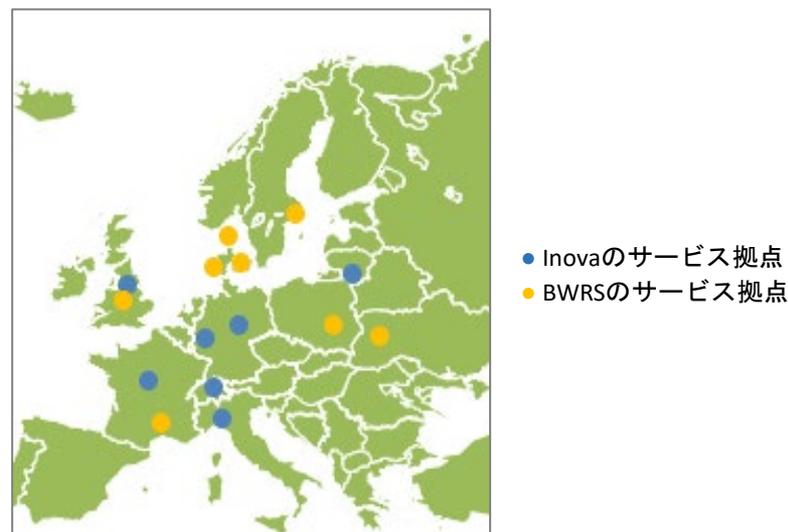


# Inovaの継続的事業の拡大

Inovaの継続的事業の売上高及び全体に占める割合



Inovaの既存拠点とBWRS (Inova Denmark)の拠点網



## M&Aを通じた欧州におけるアフターサービス拠点網の拡充

時期	会社名	国	事業内容
2014年12月	Kraftwerkstechnik	独	WtEメンテナンス
2020年4月	ESTI	仏	WtEメンテナンス
2020年4月	NCIS	仏	スペアパーツ製造
2022年2月	Steinmüller	独	WtE
2022年4月	EST Industries	仏	ボイラーサービス
2024年6月	BWRS	デンマーク	WtEメンテナンス

# 事業ポートフォリオ・マネジメント 取り組み実績

2020年以降に実施した主な取り組み

時期	内容	買収	戦略的アライアンス	譲渡
2020年4月	Inovaが仏メンテナンス会社ESTIを買収	○		
2020年11月	NAC Internationalが米Deep Isolationに出資		○	
2021年7月	Inovaが独バイオガス関連企業をSchmack Groupから買収	○		
2021年10月	川崎重工業（株）とシールド事業を統合		○	
2022年2月	Inovaが独Steinmüllerを買収	○		
2022年9月	甲板機械子会社の株式を譲渡			○
2022年10月	東京電力HD（株）とキャスク合併事業		○	
2023年1月	NAC Internationalが米Philotechnicsを買収	○		
2023年2月	物流子会社の株式の66.6%を譲渡			○
2023年4月	船用エンジン事業の分社化・今治造船(株)との協業		○	
2023年5月	TREホールディングス（株）と環境事業で業務提携契約の締結		○	
2023年6月	NAC InternationalがカナダNIAGARA ENERGY PRODUCTSを買収	○		
2024年3月	Inovaが伊Schmack Biogasを買収	○		
2024年6月	InovaがデンマークのBabcock & Wilcox Renewable Serviceを買収	○		
2024年10月	Inovaが仏EST Industriesを子会社化	○		

# ポートフォリオマネジメント

## ■ 低採算事業のスクリーニング

数値指標

- 営業利益率など
- 当社ビジョンとの整合性

戦略・  
リスク評価

- 事業目標の達成度
- 事業地位、事業の魅力度の将来性
- 事業環境の変化による重大なボトルネックの発生

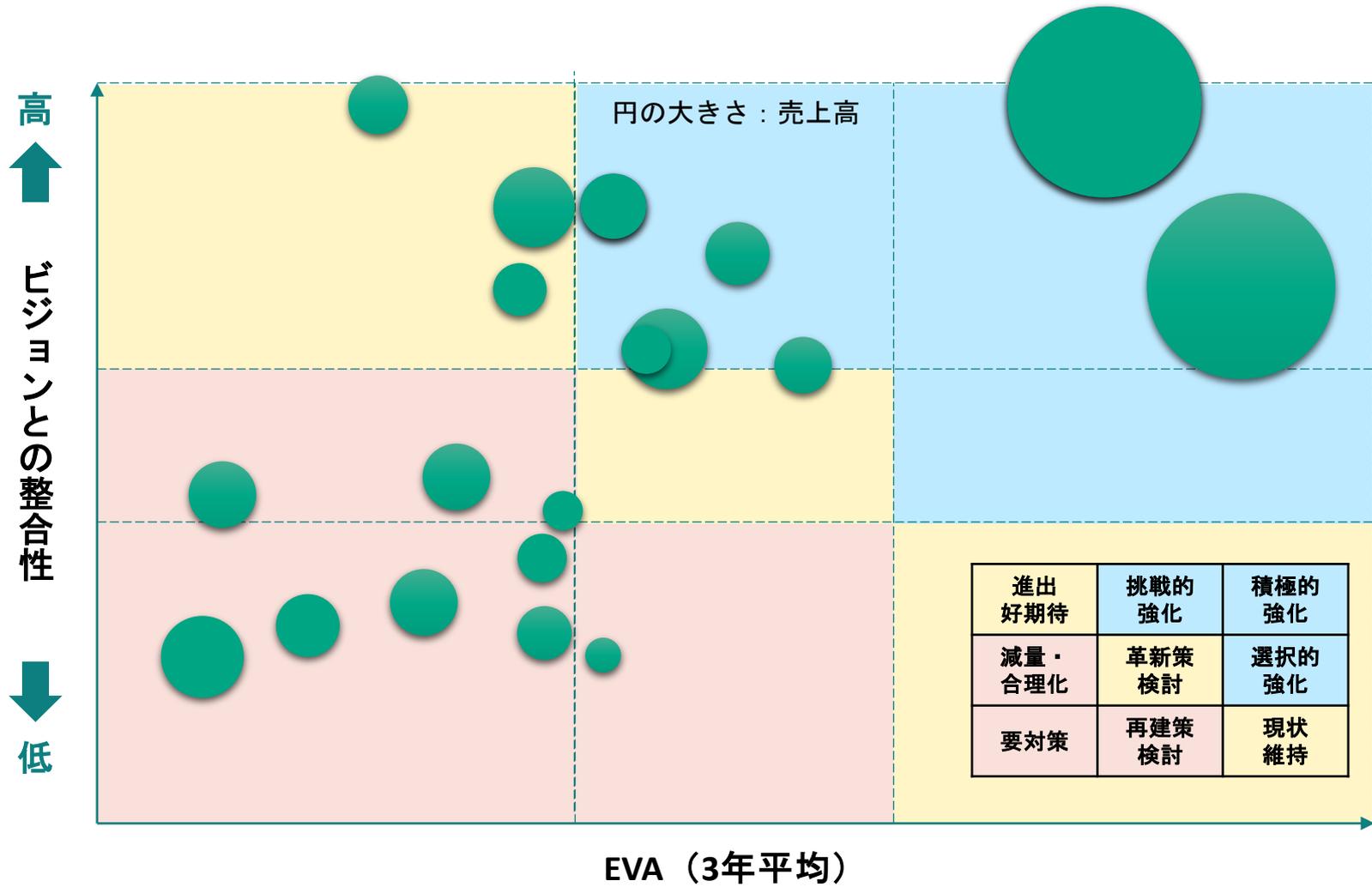
## ■ 事業レベル4区分の判定



低採算事業の整理と経営資源の伸長分野へのシフト

- PDCAを回しながら、事業戦略や具体的施策の定期的な見直しを実施
- 各事業について「サステナブルビジョン」や「2030 Vision」との整合性を検証し、事業成長と社会貢献の両立をめざす

# ビジョンとの整合性



# 人的資本の強化

## 経営戦略・事業戦略の実現に必要な人材の採用・確保、配置・育成、定着

KPI  
(2025)

女性新卒採用率 事務系 50%、技術系 10%  
男性の育児休暇・休業取得率 100%

職員エンゲージメント指数 70%  
生活習慣病平均有所見率 21%

### 【課題】

- ・人材確保が困難
- ・グローバル化への対応
- ・働き方に関する価値観の多様化

人の成長

自律した個人

組織の成長

多様性のある組織

「人」と「組織」の成長の好循環が、  
「**会社の成長**」および  
「**企業価値の向上**」を促進

### 人材の採用・確保

- ・多様な人材の確保  
(女性・外国人・障がい者)
- ・多様な働き方の提供による  
確保推進

### 適正配置・戦略的育成

- ・キャリア形成支援
- ・グローバル人材育成
- ・経営人材育成(サクセッションプラン)
- ・リスキリング
- ・人材流動化 (人材公募・副業)

### 人材の定着

- ・人事処遇制度の見直し
- ・福利厚生制度の再構築

人材戦略の重点施策

人材のポートフォリオ 経営・事業部門との連携・対話 タレントマネジメント

エンゲージメント

ウェルビーイング

働き方改革

健康経営・安全

ワークライフバランス

ダイバーシティ&インクルージョン

創業者精神・Hitz Valueの共有

意識改革・風土改革

人材戦略の基盤

# TOPICS

## COP29 に出展

### ジャパン・パビリオンでの展示

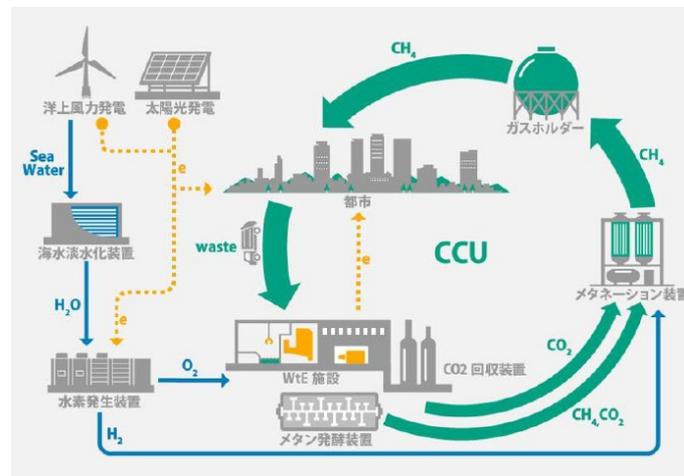
- 環境省の「ジャパン・パビリオン」に出展
- 当社が保有する様々な廃棄物処理技術を紹介



社長セミナー登壇の様子



当社展示ブース



展示模型フロー

## TNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）への対応

- 2023年12月にTNFDの提言への賛同を表明
- 2024年10月に「TNFDレポート2024」を発行

「TNFDレポート2024」 [https://www.kanadevia.com/ir/data/pdf/tnfd2024\\_J.pdf](https://www.kanadevia.com/ir/data/pdf/tnfd2024_J.pdf)



# TOPICS

## CEATEC2024 に出展

- 国内最大のエレクトロニクス向け展示会に初出展

### 出展内容：

- ごみ焼却発電×DXに対する取り組み
- 当社のAI技術活用事例
- 全固体電池リチウムイオン電池
- 風力発電の遠隔操作

### 講演内容：

プラントエンジニアリング×デジタル  
～カナデビアが実現する未来社会～



当社展示ブース



セミナー講演の様子

# Kanadevia

Technology for people and planet

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。